

しんいち学区まちづくり推進委員会

委員長 河上 正次

（問い合わせ先）0847-52-5546（新市交流館）

事業内容

- (1) 安心・安全事業 福山市一斉防災避難訓練（11月26日）福山市一斉防災避難訓練参加、
学区全体 1,075人参加
防災倉庫完成、備品補充拡充
- (2) 福祉事業 広報誌「藍まちづくり」特報、105、106、107、108号各1,900部発行
健康講座（11月17日）「薬との上手なつきあい方、サプリメント等」
講師、三師会マルシン薬局 29人参加
健康づくり（2月25日）学区内史跡めぐり 35人参加
ヤングボランティアスクール（9月27日）4年生42人福祉委員41人
一人暮らしの集い（8月5日）一人暮らし12人、福祉委員39人、看護師2人
一人暮らしの方へ配食弁当（10月21日）一人暮らし122人、福祉委員14人
一人暮らしの方へ年賀状（11月20日）124人
- (3) ふれあい事業 小学校卒業記念事業（3月14日） わらべの会10人と卒業生34人
作品と学習発表会（2月4日）作品発表会 動画配信（交流館まつり）300人
しんいちマルシェ（3月17日） 700人
花壇整備と桜施肥
- (4) 環境美化事業 献血活動（4月2日）48人
公衆衛生委員会総会 20人
- (5) しんいち“アゲイン”事業 （7月3日）県警察本部110番、平和公園研修 16人参加

成果

各行事をおして地域住民が積極的・主体的に活動を実施することで、地域が活性化し地域づくりが出来る。まちづくり推進事業の内容が理解でき緩やかに進んでいる。また、役員会の連絡、事業の動画配信等一部ではあるがSNSを利用する方向でも動き出した。

課題

各行事の推進役、参加者の高齢化が進み、又、コロナ禍の関係もあり事業内容が団体に動く事業から個の単位の方に動いて行くように思える。まちづくりも若年層が積極的に動ける体制作りが欠かせない。

課題解決にむけて

地域づくりに向けてまちづくりミーティングやお互いさまミーティング等の話し合いで問題の抽出、解決へと会を重ねて意識作りの輪を広げる必要がある。

しんいち学区のまちづくり推進事業

浸水水位表示板、防災倉庫設置

★安心・安全事業 福山市一斉防災訓練（11月26日）学区全体参加者 1,075人
しんいち学区では昭和20年の洪水を教訓として、新市・相方の浸水水位の指標を設置し、避難訓練等に生かしている。



相方地区の浸水水位表示板と防災倉庫



新市地区の浸水水位表示板と防災倉庫



★福祉事業 健康講座



三師会の協力により11月17日「薬との上手なつきあい方、サプリメント等」と題して、マルシン薬局の薬剤師さんに講演を頂きました。29人

★福祉事業 健康づくり（史跡めぐり）



今回は2月25日に 新市コース3、立石から神谷川の約10kmを歩きました。35人

★福祉事業 ヤングボランティアスクール

4年生を対象に（9月27日）福祉体験を行いました。4年生42人、福祉委員41人
高齢者体験 車いす体験 アイマスク体験



福祉事業・ふれあい事業

★ふれあい事業

しんいちマルシェ（3月17日）700人



デジタル活用のまちづくり

★ふれあい事業

・作品展（2月1日から2月4日）発表会（2月4日）300人

（発表会の動画は、右のQRコードで見れます）



・役員会の連絡はLINEで行っている。